

さいきのまちづくり ~みんなで作ろうさいきの未来~



第2次佐伯市総合計画(後期基本計画)

小・中学生版

平成30年度～令和9年度



大分県佐伯市





平成30年4月に佐伯市では、「地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり」を進めるための新しい計画を立てました。

しかし、子どもの数が減りお年寄りが増えたり、新型コロナウイルスが広がったりして、まちの活気がなくなり佐伯市の経済が厳しくなっています。

このようなことを解決するためには新しいアイデアが必要で、それが「さいきオーガニックシティ」の実現です。

この取り組みは、佐伯市の豊かな自然と一緒に長く続くまちをつくることを考えています。この考えは、400年以上前に佐伯の地を治めていた毛利高政公もうりたかまさが大切にしていたことでもあります。

今後は、「経済」「社会」「環境」の3つの側面に気を配った、「さいきオーガニックシティ」に取り組むこととしました。そうした取り組みを計画的に進めるため、次の5年間(令和5年から令和9年)の計画として、第2次佐伯市総合計画(後期基本計画)を作りました。

この計画は、たくさんの人たちの意見を聴きながら作ったもので、「さいき7つの創生」という7つのアイデアを使って、自然環境や生活、医療、学校や仕事、まちづくり、まちの活性化など、さまざまなことに取り組む予定です。

そのためには、みんなが協力したり、デジタル技術を使って変化に対応したりすることが大切です。「さいき7つの創生」を進めるために、佐伯の人たちを育て、まちや会社と一緒に「さいきオーガニックシティ」の実現に取り組むことで、佐伯市が住みやすい最高のまちになるように、地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくりを進めていきます。

今回、これからの将来の佐伯市を支える小・中学生向けの総合計画を作りましたので、授業で先生や友達と話し合ったり、おうちで家族と一緒に将来の佐伯市を考えたりするきっかけになればと思います。

最後に、この計画づくりを手伝ってくれたみなさん、本当にありがとうございました。

佐伯市長 田中利明

第2次佐伯市総合計画(後期基本計画)小・中学生版 目次

佐伯市のすがた	2
総合計画ってなに? どうして必要なの?	3
地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり	4
持続可能な開発目標(SDGs)	5
さいきオーガニックシティってなに?	7
さいきオーガニック憲章	9
1 豊かな自然環境 <small>かんきょう</small> と安全・安心な生活環境 <small>かんきょう</small> の創生[自然・生活環境]	10
2 暮らしと産業を支える生活基盤 <small>きばん</small> の創生[生活基盤]	11
3 健康で安心して暮らせる共生社会 <small>せいりょうふくし</small> の創生[保健医療福祉]	12
4 人が学び、人が生き、人が育つ教育の創生[教育文化]	13
5 地域資源をいかした産業と観光の創生[産業振興 <small>しんこう</small>]	14
6 人が交流し、活力あふれるまちの創生[まちづくり]	15
7 地域が輝くまちの創生[地域活性化]	16
未来のあなたへ	18

佐伯市のすがた

①いつ「佐伯市」ができたのでしょうか？

平成17年3月3日、新「佐伯市」が誕生（平成の大合併）

合併前は、佐伯市と南海部郡みなみあまべぐん5町3村（上浦町・弥生町・本匠村・宇目町・直川村・鶴見町・米水津村・蒲江町）でそれぞれが違う自治体でした。

②面積：903.14km²（九州で一番広い自治体）

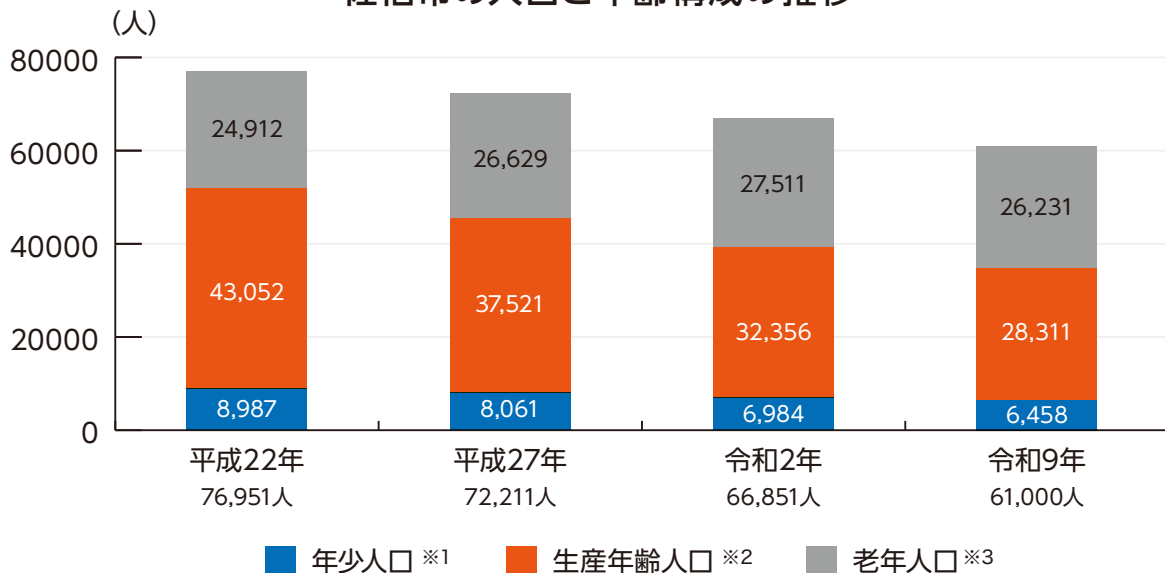
③人口：令和5年12月末時点 65,624人

④佐伯市の人口推移

佐伯市の人口は、66,851人（令和2年10月1日現在）となっています。令和9年（2027年）には、約61,000人と予想されます。令和22年（2040年）の人口は、46,000人になると予想しています。さらに、子どもの数が減りお年寄りの割合が高くなる少子高齢化こうれいも進んでいるため、対策を行う必要があります。



佐伯市の人口と年齢構成の推移



※1 年少人口・・・0歳から14歳 ※2 生産年齢人口・・・15歳から64歳 ※3 老年人口・・・65歳以上

●考えて(調べて)みよう

子どもの数が減りお年寄りの割合が高くなる少子高齢化が進んでいくとどうなるでしょう？

総合計画ってなに？ どうして必要なの？

総合計画とは、佐伯市の未来をよりよくするために、平成30年から令和9年までの佐伯市の取り組みをまとめたものです。

佐伯市民が安心して幸せに暮らしていけるように、佐伯市が目指す将来のまちの姿をたくさんの人たちが意見を出し合って決めた、佐伯市の最も大きな計画です。

自分が目指す未来の姿（将来何になりたいか、どんな仕事をしたいか）を実現するためには、計画を立てて勉強や運動に取り組むのと同じです。

この総合計画は、平成30年度から令和9年度までの計画になっていて、自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化の7つの分野について具体的に取り組んでいきます。これを「さいき7つの創生」といいます。

基本政策 **さいき7つの創生**

- 1 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生** [自然・生活環境]
- 2 暮らしと産業を支える生活基盤の創生** [生活基盤]
- 3 健康で安心して暮らせる共生社会の創生** [保健医療福祉]
- 4 人が学び、人が生き、人が育つ教育の創生** [教育文化]
- 5 地域資源をいかした産業と観光の創生** [産業振興]
- 6 人が交流し、活力あふれるまちの創生** [まちづくり]
- 7 地域が輝くまちの創生** [地域活性化]



地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり

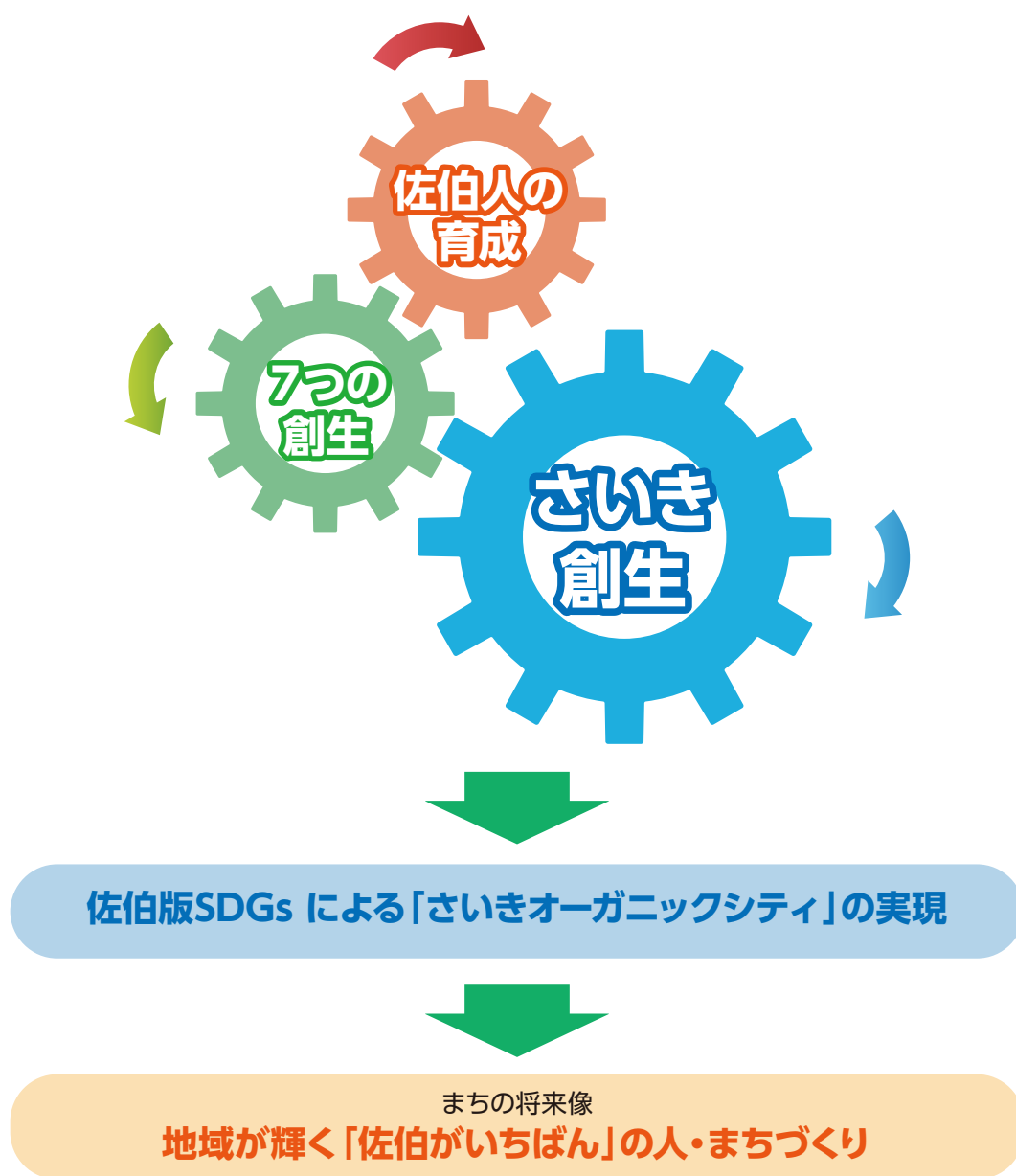
「さいき7つの創生」という7つのアイデアを使って、まちづくりを進めていきます。

「まちづくりは、人づくり」といわれるように、将来の佐伯市を支える人材の育成は重要です。佐伯市が抱える様々な課題や社会状況の変化に対応した、「佐伯人」※1の育成に取り組みます。

そして、「さいき7つの創生」の7つのアイデアと「佐伯人」の育成により、さいきが活気あふれるまちづくり「さいき創生」を実現します。

また、新たに「経済・社会・環境」の3つの側面に気を配った取り組みを進め、「さいきオーガニックシティ」の実現を目指します。

今後も「さいき7つの創生」を中心にして、それらを推進していく「佐伯人」を育成しながら、佐伯版SDGsに取り組むことで、『地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり』を進めていきます。



※1 佐伯人(さいきびと)：「さいき7つの創生」を進めて、佐伯市をより良いまちにしていく人のことです。職業・性別・年齢・国籍などに関係なく誰もが佐伯人(さいきびと)として活躍できます。

持続可能な開発目標 (SDGs)

平成27年 (2015年) に国連サミットで採択されたSDGsは、世界中がたくさんの問題にどう対処するかを考えるための、17個の大きな目標と169の具体的な目標を定めており、「だれもが平等に幸せに暮らせる社会」の実現を目指し、経済、社会、環境の幅広い分野の問題に対して取り組むことが必要とされています。

SDGsの目標を実現することは、佐伯市が元気になることにもつながっています。具体的には、地域の経済活動や人々の暮らし、自然環境などがバランス良くつながるまちづくりを進めることが求められています。

佐伯市でも、SDGsの17の目標に向けて取り組みを行い、安心していつまでも生活できるまちづくりを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

	<p>目標1【^{ひんこん}貧困】 地球上のあらゆる形の貧困をなくそう</p>
	<p>目標2【^{きが}飢餓をゼロに】 飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう</p>
	<p>目標3【^{ふくし}すべての人に健康と福祉を】 だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう</p>
	<p>目標4【^{わた}質の高い教育をみんなに】 だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう</p>
	<p>目標5【ジェンダー平等を実現しよう】 男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう</p>



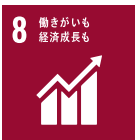
目標6【安全な水とトイレを世界中に】

だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう



目標7【エネルギーをみんなに そしてクリーンに】

すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう



目標8【働きがいも 経済成長も】

みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう



目標9【産業と技術革新の基盤をつくろう】

災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう



目標10【人や国の不平等をなくそう】

世界中から不平等を減らそう



目標11【住み続けられるまちづくりを】

だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくらう



目標12【つくる責任 つかう責任】

生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう



目標13【気候変動に具体的な対策を】

気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう



目標14【海の豊かさを守ろう】

海の資源を守り、大切に使おう



目標15【陸の豊かさも守ろう】

陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう



目標16【平和と公正をすべての人に】

平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくらう



目標17【パートナーシップで目標を達成しよう】

世界のすべての人がみんなですべての目標を達成しよう

「さいきオーガニックシティ」ってなに？

佐伯市は『^{かがや}地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり』を目指しています。この未来の姿を実現できるよう、佐伯市民が協力し合い、生活することが大切です。

さらに、『^{かんきょう}地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり』を目指すためには、これから先もずっと、佐伯市で人々が豊かに暮らしていけることが大切です。

そのために、「^{かんきょう}経済・社会・環境」の3つの側面に気を配った取り組み（佐伯版SDGs）を進め、市民や会社、市役所などが、それぞれの役割の下で^{たが}お互いが協力し合いながらつくられた、さいきオーガニックシティ※2「人と自然が共生する持続可能なまち（^{じゅんかん}循環型共生社会）」の実現を目指します。

さいきオーガニックシティ概念図



※2 「オーガニック」の意味について

オーガニックとは、一般的に^{いっばんてき}化学的に合成された肥料や農薬などを使わないで生産された農林水産物や製品のことで、佐伯市の総合計画では、将来にわたり持続可能なまちを創るため、「経済」・「社会」・「環境」の3つの側面に気を配った取り組み（佐伯版SDGs）のことをオーガニックとしています。

・上の図の「経済」・「社会」・「環境」にSDGsの17の目標アイコンとさいき7つの創生がそれぞれ振り分けられています。

●人々が豊かに暮らすための「さいきオーガニックシティ」の3つの側面について見てみましょう

「経済・社会・環境」という3つの側面に気を配った取り組みとはどういうことか、例を挙げて考えてみましょう。

たとえば佐伯市で取り組んでいる「サイクルツーリズム」※3で見てみると、自転車は子どもから大人まで手軽に乗ることができる身近な乗り物のため、便利がよい、環境や健康にやさしい、維持コストが安いなどの利点があります。

経済

自転車イベントなどの開催による経済の活性化

自転車イベントの開催により、多くの参加者が集まるため、佐伯市内の経済活性化につながります。



社会



地域住民との交流

自転車イベントでは、スピードを競わず、海、山、川の景観や地域の料理などを楽しんでいただき、地域に暮らす人々が温かいおもてなしの心でお迎えます。

環境



二酸化炭素の減少

自転車人口の増加は、自動車交通量の減少につながり、市民の健康増進だけでなく、二酸化炭素の減少につながります。

●以下の事例で「経済・社会・環境」の3つの側面に気を配った取り組みを考えてみましょう

例) 市内のお店で食事をする

・経済 市内でお金を使うことで、

・社会 郷土料理を食べることで、

・環境 車での遠出が減ることで、

※3 サイクルツーリズム：自転車を活用した観光のことで、美しい自然や街並みを五感で感じ、その土地の暮らしや文化に触れながら地域を巡ることです。

さいきオーガニック憲章について

令和2年3月18日、佐伯市は「さいきオーガニック憲章」を制定しました。

佐伯市の豊かで美しい山・川・海は地域の宝であり、^{わたし}私たちはこの^{めぐ}恵まれた^{かんきょう}自然環境を将来にわたって守り続けていく必要があります。

この憲章は「オーガニック」をキーワードに、市民が主体となって、持続可能なまちづくりを^{じっせん}考え実践していくことを目的としています。

さいきオーガニック憲章

自然環境にやさしい、持続可能なまちを^{つな}繋ぎ続けるため、ここに『さいきオーガニック憲章』を定めます。

私たち佐伯人は、オーガニックを学び、楽しみながら…

 **水や空**がよろこぶことをします

 **森や土**がよろこぶことをします

 **心や体**がよろこぶことをします

 **いのち**がよろこぶことをします

 **みんな**が**つながる**ことをします

次のページからはさいき7つの創生（分野）についての取組をSDGsとさいきオーガニック憲章のアイコンとともに紹介します。

1 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生 [自然・生活環境]

オーガニック
憲章



SDGs



① 豊かな自然環境とその美しい景色^{けしき}を次世代^{つぎ}に引き継ぐため、人と自然が共生するまちづくりを進めます。

② 清潔^{せいけつ}で安全な生活環境を整備し、市民生活の安定や心地よさ・使いやすさの向上を図ります。

③ 地震^{じしん}・津波^{つなみ}・台風などの自然災害から市民の暮らしを守るため、地域防災力の高い、災害に強いまち（人）づくりを進めます。

●具体的な取り組み

- ・森林・河川^{かせん}・海岸など地域の保全活動
- ・ユネスコエコパーク※4をいかした「自然と人との共生」のまちづくり
- ・災害に強いまち・人づくり



地域清掃活動の様子



宇目藤河内溪谷での
キャニオニング※5



消防団員による水防訓練

わたしたちができること

- ・山・川・海の豊かな自然環境を守ろう
- ・ごみの減量やりサイクルをしよう
- ・災害（地震・津波・台風）に備えるため避難訓練^{ひなん}に参加しよう

●考えて(調べて)みよう

地震・津波・台風などの自然災害から身を守るために、日ごろから出来ることは何がありますか？

※4 ユネスコエコパーク：豊かな生態系を有し、地域の自然資源を活用した持続可能な経済活動を進めるモデル地域です。（認定地域数：134か国738地域。うち国内は10地域。）

※5 キャニオニング：溪谷（キャニオン）の中を歩いて泳いで、天然のウォータースライダーを滑り降りたり、滝つぼにダイブしたり、自分の体を使って溪谷を下っていったりするアウトドアスポーツです。

2 暮らしと産業を支える生活基盤の創生 [生活基盤]

オーガニック
憲章



SDGs



① 市民生活を支える水道、下水道、道路、情報・通信などの整備や公共交通の新たな組み立てを進め、安全で便利な市民生活の確保に努めます。

② 中心市街地の整備を進め、人が集まる街の実現に取り組みます。

● 具体的な取り組み

- ・ 水道施設、下水道施設の整備
- ・ 道路、トンネルなどの整備
- ・ コミュニティバス※6、離島航路の運航
- ・ 中心市街地の活性化



下水処理施設見学



道路整備状況



さくらごころパークでのイベント

わたしたちができること

- ・ 水を大切に使おう
- ・ 交通ルールを守ろう
- ・ 人が集まる行事に参加してみよう

● 考えて(調べて)みよう

- ・ 水道施設、下水道施設はどうして必要なのでしょう？
- ・ 人が集まり、活気がある街にするにはどのようなことをすれば良いと思いますか？

※6 コミュニティバス：地域住民の利便性向上などのため一定地域内を運行するバスで、車両使用、運賃、時刻表、バス停位置などを工夫したバスサービスのことです。

3 健康で安心して暮らせる共生社会の創生 [保健医療福祉]

オーガニック
憲章



SDGs



- ①地域の人の健康や医療を守るための整備や健康づくりの取り組みを進めます。
- ②「地域共生社会」※7の実現に向け、市民が世代や背景を超えてつながり、お互いが支え合う地域づくりを進めます。
- ③保育所の整備や保育士の確保を進めて、子育てしやすいまちづくりを目指します。

●具体的な取り組み

- ・健康づくりの推進（健康診断の実施など）
- ・高齢者の生きがいづくり、生活支援
- ・やさしさと思いやりに満ちた共生社会の実現
- ・保育所の運営などの子育て支援



食生活改善の啓発活動



高齢者お茶の間クラブ



さいき城山桜ホール内の託児スペース

わたしたちができること

- ・バランスの良い食事をしよう
- ・困っている人を見かけたら声をかけよう
- ・早寝早起きをしよう

●考えて(調べて)みよう

- ・健康のために日ごろから心がけていることや取り組んでいることはありますか？
- ・誰もが積極的に参加・貢献していきことができる社会をつくるためには何が必要ですか？

※7 地域共生社会：世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていくことを目指すものです。

4 人が学び、人が活き、人が育つ教育の創生 [教育文化]

オーガニック
憲章



SDGs



- ①学力向上、体力向上、いじめ・不登校問題解決に重点をおいて^{けいぞくてぎ}継続的に取り組みます。
- ②学校を中心とした「ふるさと創生」の取り組みを進めます。
- ③生活文化の向上や青少年育成、文化芸術などについて、積極的に取り組んでいきます。

●具体的な取り組み

- ・学校教育や学校施設^{しせつ}の充実、公民館・図書館・体育館などの運営^{じゅうじつ}
- ・地域・学校・家庭^{れんけい}が連携した「地域協育」^{ぎょういく}・「地域協働」
- ・スポーツイベント、社会教育事業^{じっし}の実施
- ・文化芸術の振興^{しんこう}、地域の文化財・伝統文化の保存・活用



高等学校との^{えんかく}遠隔授業



SAIKIリレーマラソン



こどもミュージカル

わたしたちができること

- ・いろいろな勉強やスポーツにチャレンジしてみよう
- ・読書をしよう
- ・佐伯市の歴史や文化について調べてみよう

●考えて(調べて)みよう

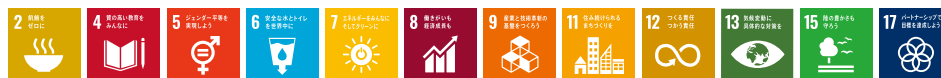
- ・将来の夢や目標があれば記入してみよう
- ・佐伯市の歴史や文化について調べてみよう

5 地域資源をいかした産業と観光の創生 [産業振興]

オーガニック
憲章



SDGs



- ① 豊かな自然環境をいかした農林水産業の振興とその素材を活用したさいきブランドの確立に取り組めます。
- ② 商工業では、地元産業の活性化と企業誘致※8の推進に取り組めます。
- ③ 観光面では、これまでの観光業に農林水産業や造船業など、地域の産業を観光化することで観光産業へ発展させます。

●具体的な取り組み

- ・ 農林水産業の振興、後継者の育成
- ・ 地場産業の活性化、企業誘致
- ・ 佐伯市産品の生産・流通支援、ブランド化推進
- ・ 佐伯市の強みを活かした観光の推進



さいばい
有機野菜栽培※9の研修風景



ごまだし関連商品とマスコット



すし
佐伯寿司

わたしたちができること

- ・ 佐伯産のお米や野菜・魚を食べよう
- ・ 地元で買い物をしよう
- ・ 佐伯市にはどんな企業(会社)があるのか調べてみよう

●考えて(調べて)みよう

- ・ 佐伯市にはどのような特産品がありますか？
- ・ 佐伯市で盛んな産業を調べてみましょう

※8 企業誘致：地域の経済活性化・振興などを目的として、自治体が企業を呼び込むことです。

※9 有機野菜栽培：農薬や化学肥料に頼ることなく、環境への負荷をできる限り少なくする方法で生産された野菜の栽培方法です。

6 人が交流し、活力あふれるまちの創生 [まちづくり]

オーガニック
憲章



SDGs



①人権、男女共同参画※10、市民協働、「食」のまちづくり、移住・定住、国際交流、行政サービス、新たな地域コミュニティの整備など、様々なまちづくりを推進していきます。

●具体的な取り組み

- ・人権尊重・男女共同参画の推進、「食」のまちづくり
- ・市外からの移住・定住の推進
- ・デジタル技術を活用した市民サービスの利便性向上
- ・地域コミュニティ組織※11の活動支援



男女共同参画啓発展示



食育推進月間ワークショップ



地域コミュニティ組織※7の活動状況

わたしたちができること

- ・いじめや差別をしない
- ・地域のお祭りやイベントに参加してみよう
- ・外国の文化を学んでみよう

●考えて(調べて)みよう

- ・いじめや差別をなくすためにはどうすればよいですか？
- ・地域のお祭りを調べてみましょう

※10 男女共同参画：男性と女性が社会の全ての面で平等に参加し、責任を共有し、互いに協力し合って活動することを目指す考え方です。

※11 地域コミュニティ組織：住み慣れた地域に住み続けたいという住民の願いを叶えるため、地域住民が構成する組織で、地域をより良くするために活動する住民同士のつながりや集まりのことです。

7 地域が輝くまちの創生 [地域活性化]

オーガニック
憲章



SDGs



①各地域の自然や歴史・文化・伝統などを次世代に受け継ぎ、それぞれの特性をいかしたまちづくりを推進します。

具体的な取り組み

●人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ ～佐伯地域～

- 新たなまちの姿を描く「街」エリアの形成
- 地域資源をいかし次世代につなげる「里・浦」エリアの形成
- 「街」「里」「浦」エリアにおける歴史・文化の活用と空き家、空き店舗などの利用促進
- 人が集い、安全で安心して暮らせるための新たな地域コミュニティ組織づくり

【重点プロジェクト】

げんき、ひろがる！ 佐伯プロジェクト



空き家を改装した
コミュニティカフェ(佐伯地域)

●マグロ養殖と花の咲くまち かみうら ～上浦地域～

- 花の咲く地域づくりと観光振興
- 美しい町並みと快適・安心空間の形成

【重点プロジェクト】

・花の咲く上浦づくり ・生本マグロの活用



豊後二見ヶ浦(上浦地域)

●人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生 ～弥生地域～

- 「道の駅やよい」を中心とした地域産業の活性化と周辺観光整備
- 住んでみたい・住み続けたいと思う美しいまちづくり
- 安全・安心に暮らすための災害に強いまちづくり

【重点プロジェクト】

弥生にぎわいプロジェクト



番匠川でのSUP体験(弥生地域)

●よし 最高の水あそびを 用意しよう！ ～本匠地域～

- 人と自然が共生した環境の整備
- 地域の特性をいかした特色ある地域産業の推進
- 道路整備や住み慣れた地域で安心して、生きがいを持って暮らせる地域づくり

【重点プロジェクト】

自然と遊ぶ本匠プロジェクト



小半森林公園の水車と番匠川(本匠地域)

●ユネスコエコパークを活用した持続可能な地域づくり ～宇目地域～

- 自然と文化の継承による魅力ある地域づくり
- 地域の自然をいかした農林産物の販売促進
- ユネスコエコパークをいかしたまちづくり

【重点プロジェクト】

・次世代教育の実施 ・観光地の整備
・ユネスコエコパークとしての宇目地域の魅力の情報発信



重岡岩戸神楽保存会(宇目地域)

具体的な取り組み

●人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川 ～直川地域～

- 地域で安心して暮らすためのコミュニティづくり
- 安全に暮らすための防災対策の推進
- 持続可能な農村づくり
- 直川製品のブランド化の推進
- 地域資源を活用した観光産業の推進

【重点プロジェクト】

- ・なおかわ安心プロジェクト
- ・なおかわ活力プロジェクト



カブトムシモニュメント(直川地域)

●海に寄り添い海と生きる、安心快適な鶴見地域 ～鶴見地域～

- 子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすい新たなコミュニティの創出
- 豊かな海と水産資源を生活するための仕事にできるまちづくり
- ありのままの鶴見半島を味わう観光

【重点プロジェクト】

- ・ひとにやさしいまちプロジェクト
- ・漁業のまちの未来創生プロジェクト
- ・ありのまま鶴見味わいプロジェクト



まがき
佐伯真牡蠣(鶴見地域)

●人口増へ！米水津からの情報発信 ～米水津地域～

- 安心して暮らせる定住の場を確保
- 移住者や働ける高齢者など、労働力の確保
- 第二浦代トンネルの整備要望活動の推進
- 米水津からの情報発信

【重点プロジェクト】

- 米水津人口増加プロジェクト



間越地区来だんせへ市(米水津地域)

●海の恵みを活かすまち蒲江 ～蒲江地域～

- 蒲江の地域資源をいかした観光メニューの開発
- 蒲江ブランドの情報発信と定着
- 交通環境(道路・公共交通機関)の整備促進
- 施設を活用した交流拠点づくり・空き店舗活用
- 災害に強いまちづくりの促進

【重点プロジェクト】

- 人を呼び込む蒲江周遊観光プロジェクト



かまえインターパークからの花火(蒲江地域)

わたしたちができること

- ・自分たちが住む地域のことを調べてみよう
- ・地域の人と交流しよう
- ・地域の魅力を発信しよう

●考えて(調べて)みよう

自分たちが住む地域を発展させるためにはどのようなことが必要ですか？

～未来のあなたへ～

これからの佐伯市やあなたの未来について考えてみましょう

- ・10年後、どのような佐伯市であって欲しいですか？
- ・10年度、自分はどんなことをしていると思いますか？
- ・大人になったら、ふるさと佐伯市のために何ができるか（したいか）考えてみましょう
- ・そのために、今からあなたができることは何でしょうか？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



総合計画のことをもっと知りたいときは佐伯市総合計画のホームページ

佐伯市 総合計画

検索

令和6年3月

【発行】大分県佐伯市

【編集】佐伯市総合政策部政策企画課

佐伯市教育委員会学校教育課

〒876-8585

大分県佐伯市中村南町1番1号

電話 0972-22-4104

<https://www.city.saiki.oita.jp/>